

## 【事務局からのお知らせ】

平成 24 年 5 月 26 日に社員総会が開催されました。その審議内容を以下に掲載します。  
なお配布資料は、分量の関係から省略します。

特定非営利活動法人 全日本大学開放推進機構  
平成 24 年度 第1回 社員・会員総会 議事録

## 議 事 次 第

- ◇ 開催日時 : 平成 24 年 5 月 26 日 (土) 13:30~15:30まで
- ◇ 開催場所 : 大東文化大学信濃町校舎 JR 信濃町駅ビル 3 階 第 3 会議室
- 1 出欠状況報告 (開会宣言) 事務局
- 2 開会及び挨拶 (第1回総会の開催にあたって) 香川理事長
- 3 議長選出 (事務局)

### 議 題

#### 報告事項

- 1) 特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構の発足経緯について
- 2) 理事の役割分担について

#### 審議事項

- 第 1 号議案 特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構運営の基本方針について
- 第 2 号議案 平成 24 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について [資料 B/C]
- 第 3 号議案 事業計画(大学開放フォーラム・研修セミナー担当)について [資料 E]
- 第 4 号議案 役員(理事・顧問)の件について [資料 F/G]
- 第 5 号議案 規則(内規・細則等)について <会計基準> [資料 D]
- 第 6 号議案 会員勧誘及び寄付金の集め方について
- 第 7 号議案 その他・・・<HP の内容公表について、その他>

#### ◇ 配布資料

- B 「H24 年度事業計画」
- C 「H24 年度収支予算書」
- D 「NPO 法人 UEJ 会計規則(「謝金旅費」支払基準
- E 「藤田公仁子社員」からの企画(案)
- F 役員・会員社員等名簿
- G 東京理科大学国際卒災ビレッジ研究会と UEJ との連携について
- ☆ ニュースレター 25 号 (報告事項:役員紹介(参照))

### 閉 会

## 1 出欠状況報告

橋本事務局長より、本日の出席状況の報告があり、社員会員総会開催の定足数を満たしていることの報告があった。(出席者14名、委任状25名、合計39名/会員総数53名)

## 2 議長選出

橋本事務局長より、本日の出席状況の報告があり総会開催の定足数を満たしていることを踏まえ、その結果会場より議長選出が行われ、香川理事長が議長となった。

## 3 議 題

### ◆ 報告事項

#### 1) 特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構の発足経緯について

初めに香川理事長より、本日初めての総会となり、出席者の皆様に御礼とご挨拶があった。

その後、NPO 法人申請に至った趣旨が述べられた。

次に、橋本事務局長から、平成23年11月30日内閣府へ申請し、その後一部修正を行い、12月7日内閣府受理され、平成24年2月20日内閣府より依命があり認証された。

主たる事務所のある広島の法務局で登記を行い本日に至るまでの経過報告があった。

#### 2) 理事の役割分担について

香川理事長より、[資料 F]の理事、監事、会員(法人・個人)、社員、について自己紹介を兼ね、個々人の紹介を行った。本日の総会前に行なわれた理事会において、北野譲治、河村能夫、板橋一太、村上義紀の4名が新理事として承認されたことが報告された。

### ◆ 審議事項

#### 第1号議案 特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構運営の基本方針について

香川理事長より、平成24年4月16日開催の理事会審議事項(3)で行われた「今後の運営方針 [配布資料10]」を実現していくために、以下の4項目について確認し、今後の運営の基本方針とすること、また、それぞれにまつわる提言があり、了承された。

- ① 理事は会員のために働く——優れた実践をHPで掲載し、世の中に広げる。会員をお互いに活用する。
- ② 研究開発を促進する——会員の研究・実践の成果をHPに掲載する。研究助成金を獲得する。
- ③ 連携の促進——地域団体、経済団体との連携を作る。
- ④ 専門家の養成——大学開放センター専門職員の養成、並びに養成プログラムの開発と資格制度の設計を行う。

#### 第2号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

橋本事務局長より、本件についてはすでに理事会において承認されている旨の報告があり、資料 B/C は内閣府に申請したときの資料であることが説明された。なお、会員・社員の人数がほぼ確定する5月末～6月末にはほぼ正確な収入金額が確定する予定であるので、6月には改めて収支予算を作成し、理事会に諮ることになると説明があり了承された。

#### 第3号議案 事業計画(大学開放フォーラム・研修セミナー担当)について

企画担当の山本理事から[資料 E-1/E-2]「大学開放フォーラム」に基づいて、説明があった。審議の結果、統一テーマとしては「大学開放と地域ネットワーク」と題し、基調講演では学長クラスの方にお話し、主たる事例報告では、河村能夫理事に「京都コンソーシアム」を中心にお話しして頂くのがいいという意見が出て、河村理事も了承された。プログラムの細案については今後、山本幸一理事と河村理事それに事務局で作成していくことが決まった。

#### 第4号議案 役員(理事・顧問)の件について

理事長付き相談役を設ける件について、児玉孝治氏、吉原健二氏、唐川伸幸氏、小野俊彦氏、中島章夫氏を認めて欲しいという提案があり、審議した結果、NPO法人には顧問という役職がないので、公的に位置づけるのか、私的に位置づけるのか、さらに検討する必要があるという意見が多く、今後継続して検討することとなった。

#### 第5号議案 規則(内規・細則)について <会計基準>

規則については、「(細則) 第55条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。」と、定款にあるので総会に諮る必要はないが、概略について橋本事務局長より、別紙[資料 D]について説明があり、了承された。

#### 第6号議案 会員勧誘及び寄付金の集め方について

香川理事長から、法人会員、個人会員、支援者を増やしていく方策について理事から意見を求められた。結論としては、理事や会員がそれぞれ地道な努力をしていくしかないとの意見が大勢であった。

#### 第7号議案 その他

##### 1. ホームページの内容公表について

香川理事長より、現在の UEJ ジャーナルはだれでも見られる状況にあるが、今後は会員限定の箇所を多くしたいという提案があり了承された。

事務局長より、これに伴い、6月1日からパスワードが変更されるという報告があった。

##### 2. 東京理科大学との卒災教育の件について [資料G]

・東京理科大学の卒災ビレッジ研究会と協働し、会員大学及び自治体に対し卒災教育の展開に参画し支援することが提案され、了承された。

##### 3. 理事長より、耕雲塾と協働し、UEJの講師人材と耕雲塾の講師人材の相互派遣を行うことが提案され、了承された。

#### 議事録の署名人選出について

本日行われた、第1回総会の議事録署名人は上杉孝實氏、服部裕美子氏の両名が選任された。

## 5 閉 会

予定されていた事項についての審議が終了したため、議長が閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名に次に署名押印する。

平成 24 年 月 日